

どうかについて田中理事の判断を求めたうえ、全理事の可否投票にかけることとする。

5. 奨励金受領候補者について

7月14日付で奨励金受領候補者推薦委員会(原田朗理事担当)から4名が推薦された。推薦のあった6名から4名に絞った経過等が副担当の中村理事から報告され、推薦理由書の一部を訂正したうえ、全理事の可否投票にかけることとした。

なお、学会役員交代時期が従来よりも早まったため、奨励金受領候補者の推薦締め切りを2月に、理事長への報告を4月に早めたいとの希望が推薦委員会から出され、常任理事会としてこれを了承。

6. 山本・正野論文賞候補者投票結果について

候補者2名について全理事による可否投票を行ったところ、決定に必要な理事総数の4分の3以上である25名の理事から投票があり、有効投票数の3分の2以上から承認されたため、本年度の山本・正野論文賞受賞者と対象論文は以下のとおりに決定。

森本真司会員(国立極地研究所)

Time and space variations of the carbon isotopic ratio of tropospheric carbon dioxide over Japan. (Tellus, 1993)

小池 真会員(名古屋大学太陽地球環境研究所)

Impact of Pinatubo aerosoles on the partitioning between NO₂ and HNO₃. (Geophys. Res. Lett., 1994)

7. 名誉会員の推薦について

推薦に関わる手順や基準案について、関口、大西、木田理事に、もう1名を加えた検討委員会を設置することを常任理事会として了承。もう1名の検討委員の候補者についても了承されたため、庶務担当理事が依頼することとする。次回常任理事会に検討結果を報告できるように作業を進める。

8. 「気象科学事典」の編集体制について

編集委員長に小倉義光理事をあてることを常任理事会として了承。数名の編集委員候補についても意見が出されたのを受け、小倉編集委員長と庶務担当理事で編集委員を選任し、常任理事会に報告して了承を求めることとする。

9. 京都大学防災研究所の改組について

防災研究所長から気象学会理事長に標記についての予算要求のために気象学会の支持がほしい旨の依頼があり、理事長が作成したサポート文書案について全理事にFAXで意見照会を行った。19名の理事から回答があり、気象学会としてサポートすることについて賛成が得られた。文案についての理事からの意見を斟酌したうえ、最終文書については理事長に一任することを常任理事会として確認。

大気海洋陸面相互作用研究会のお知らせ

○日 時：1995年

10月14日(土) 14時00分～17時30分

10月15日(日) 9時30分～12時00分

○場 所：神戸商船大学 大学会館

3階 大集会室

(阪神電鉄線深江駅下車徒歩5分)

○担 当：海事システム科学海洋研究室

○内 容：TOGA-COARE研究成果を中心に
発表の予定

○発表・参加申し込み：

気象研究所応用研究部 高藪 出

〒305つくば市長峰1-1気象研究所

TEL.0298-53-8620FAX0298-55-7240

e-mail : takayabu@mri-jma-go-jp